

令和7年度 道徳教育の全体計画

<p>＜教育関係法規等の規定＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・学習指導要領など ・多摩市教育委員会の教育目標 ・校長の方針 	<p>＜学校の教育目標＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○深く考え、みずから学ぶ人 ○心ゆたかで、すこやかな人 ○自他を敬愛し、協力する人 <p>学校の教育目標を達成するために、教育活動全体を通して、人権尊重の教育を徹底し、生徒一人ひとりの個性を生かす教育を推進する。</p>	<p>＜生徒の実態＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るく素直である。 ・ボランティア活動によく取り組む ・周囲から認められ自己肯定感は高くなっている。 ・将来の夢や目標を持とうとしている。
<p>＜教職員の願い＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きがいの実現に向けて努力する生徒。 ・社会の連帯を大切にする生徒。 ・自然や生命を尊ぶ生徒。 	<p>＜道徳教育の指導の重点＞</p> <p>①人権尊重、生命尊重の精神に基づき、誰にでも公正・公平に接しようとする心情を育むとともに社会とのかかわりを踏まえ、よりよく生きるために基盤となる確かな判断力や寛容な態度を育成する。</p> <p>②道徳の授業では、相互理解・寛容、思いやり・感謝を重点化するとともに、教科等における体験活動を活かした学習を通して、他者に共感する心情を豊かにし、道徳的実践力を高める。</p>	<p>＜時代や社会の要請＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化に柔軟に対応しうる人間の育成。 ・時代を超えて変わらない価値あるものを身に付ける。
<p>＜保護者の願い＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりのある生徒。 ・社会規範を大切にする生徒。 ・生命を尊ぶ生徒。 	<p>＜学校で重点的に指導する内容項目＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いやり、感謝(B-6) ・相互理解、寛容(B-9) 	<p>＜地域の実態＞</p> <p>青少年問題協議会の活動等は活発であり、学校の周りは多摩ニュータウンとして開発されている地域である。</p>
<p>＜道徳科の授業 指導の方針＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人を生かす人権尊重の教育を基盤に、豊かな人間性を重視するとともに、心の教育の充実を目指す。 ・生徒の考えや経験を補充、深化、統合し、道徳的諸価値に基づいた人間としての生き方を自覚させる。 ・他者の考えを聞き、自分の考えを深めさせることで、道徳の授業の充実を図る。（考え、議論する道徳） ・教科化に伴い1時間の目標を明確にし、国や都の道徳の資料を活用し、指導計画に基づき確実に授業を実施する。 ・議論の様子やワークシートから生徒の学習状況や成長の様子を把握し、各学期末に通知表で評価を行う。 ・「いじめはどんな理由があっても許されない」という態度を醸成する。 ・家庭や地域と連携した道徳教育に取り組む。 ・重点的に指導する内容項目を全学年一斉授業で扱う（全校道徳）。 		

<p>＜各教科＞</p> <p>①道徳教育において各教科がそれぞれの特質によって担うものを明確にする。（各教科の計画）</p> <p>②授業時数の確保と授業の質の向上により、基礎的・基本的な学習内容を定着させ、確かな学力を育成する。</p> <p>③全ての教科で、課題解決能力、補充的な学習、発展的な学習など生徒の能力・適性、興味・関心等個に応じた学習活動を展開する。</p> <p>④数学・英語においては、全学年で少人数授業を実践し、グループ活動、学習内容の習熟度に応じた指導をする。また、個に応じた指導の充実や安全指導の徹底を図る。</p>	<p>＜特別活動＞</p> <p>①学級活動、生徒会活動、学校行事などを通じて望ましい集団活動を意図的・計画的に実施し、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。</p> <p>②学校での集団活動、地域でのボランティア活動、小中連携事業などを通して、自分の所属する様々な集団や社会の一員としての帰属意識を高める。</p> <p>③生徒一人一人の個性を活かす教育を推進するため、保護者や地域の教育を取り入れた地域の教材化を進める。</p>	<p>＜総合的な学習の時間＞</p> <p>①「地域理解から自己理解・自己実現へ（より広い世界に視野を向けて）」をテーマに、各教科や地域理解学習、キャリア学習との連携を図るとともに、横断的・総合的な学習を展開する。</p> <p>②人とのふれあいや体験的な学習を通して、生徒が課題を見つけ、ESDの視点をもち、自ら学び自ら考え主体的に問題を解決できる生徒を育成する。</p> <p>③職場体験、ボランティア体験などの社会体験充実のため、地域社会の教育力を積極的に取り入れた学習を行い、心豊かですこやかな生徒を育成する。</p> <p>④学び方を学ぶ基本姿勢をもち探究活動に積極的に取り組み、自己の生き方を主体的に考える生徒を育成する。</p>	<p>＜言語活動＞</p> <p>体験等から感じたこと、考えたことをまとめ、伝えたり話し合ったり書いたりして、道徳的な成長を実感できるようにする。</p> <p>＜情報モラルの指導＞</p> <p>道徳の授業では、情報モラルに関連する読み物資料等を活用し考えを深めるようになる。</p> <p>＜その他の活動＞</p> <p>①生徒会の委員会活動や学級での班・係など生徒が主体的に取り組む時間を設定する。</p> <p>②部活動は、異年齢集団の活動の場を通して、責任感や協調性の育成を図る</p>	<p>＜豊かな体験活動＞</p> <p>①職場体験学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・望ましい勤労観や社会貢献の精神を育む。 <p>②ボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年問題協議会やコミュニティセンター主催の地域行事への参加。 ・その他の地域への積極的な参加を通して、地域社会の一員であることを自覚し、互いに支えあう思いやりや感謝の心を育てる。 <p>③文化体験学習</p> <p>音楽などを通して、豊かな情操を育む。</p>
--	--	---	--	---

<p>＜学年・学級経営＞</p>	<p>学年経営</p>	<p>①学年内、学校間の連絡調整を積極的に行う。</p>	<p>②道徳の授業の指導法についての意見交換を行う。</p>
	<p>学級経営</p>	<p>①年間指導計画の作成を行う。</p>	<p>②学級内のいじめ防止スローガンを作成し、全体で意識を共有する。</p>

<p>＜家庭や地域との連携＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業地区公開講座や授業公開を通して、家庭や地域が一体となった道徳教育を推進する。 ・学校評価アンケートを生徒、保護者に実施し、学校経営の改善に努める。 ・地域社会の方々とのふれあいを重視した体験的な活動を通して、地域の方々や仲間と共に地域に貢献し、地域に根ざした生きる力を育成する。 ・教育相談活動を充実させ、学校と保護者の連携を密にし、心身とともに健やかな生徒を育成する。 	<p>＜小学校との連携＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校と小学校が連携して落ち葉掃きなどのボランティア活動を実施する。 ・教職員の小中交流会として、授業参観と意見交換会を行う。 	<p>＜関係機関との連携＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各関係機関に学校の広報紙を配布する。 ・情報交換を定期的に行う。 ・「命の授業」の講演依頼を行い、講師を派遣してもらいや、「命の授業」の充実を図る。 	<p>＜生活指導＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒総会でいじめ防止スローガンを作成し、全体で意識を共有する。 ・美化点検を実施し、清掃活動を活発化させる。 ・生徒会が主催して、落ち葉掃きの地域美化活動を実施する。 ・生徒会活動によりSNS ルールの作成をする。 	<p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修に講師を招き、道徳の授業力の向上を図る。 ・スクールカウンセラーより連携、協力を図り、心豊かな生徒を育成する。 ・教育相談を充実させる。
--	--	---	---	--

令和7年度 第1学年 道徳科の年間指導計画 (東京書籍1年)

月	週	柱	内容項目	教材名	ねらい	頁	備考	実施
4	1	A	(5) 真理の探究、創造	「どうせ無理」という言葉に負けない	植松努さんのロケット開発にかける思いを考えることを通して、自分の可能性を追求し、真理を探究し続けようとする意欲を育てる。	P. 8-		
4	2	B	(7) 礼儀	朝市の「おはようございます」	相手の人格を認め、相手に対して尊敬や感謝を表したもののが挨拶であることを理解し、時と場に応じて適切な言動をとろうとする態度を育てる。	P. 18-		
4	3	D	(19) 生命の尊さ	いのちって何だろう	「いのち」とは何か、その尊さを守るためにどのように考えていくかについて理解を深め、かけがえのない「いのち」を大切にしようとする心情を育てる。	P. 64-		
4	4	C	(18) 國際理解、國際貢献	山岳民族の文化を守る	国際社会の一員としての日本人の自覚を持ち、他国の文化や伝統を尊重し、世界平和や人類の発展に貢献しようとする心情を育てる。	P. 54-		
5	5	A	(4) 希望と勇気、克己と強い意志	詩画にあしたをたくして	絶望の中にあっても希望と目標を持って前に進んでいこうとする星野さんの姿を通して、自分自身の弱さに向き合い、強い意志を持って生きていこうとする態度を育てる。	P. 155-		
5	6	B	(6) 思いや、感謝	見えない親切	父の発言から思いやりについて考える主人公の姿を通して、思いやりの意義についての理解を深め、相手の立場や気持ちを考えて思いやりの心を持って接しようとする態度を育てる。	P. 58-	重点内容項目 (B-6)	
5	7	A	(2) 節度、節制	よごれた教科書	主人公の心境の変化から、自分自身をコントロールすることの大切さについて考えることを通して、節度を守り、調和のある生活の実現に努めようとする意欲や態度を育てる。	P. 85-		
6	8	B	(8) 友情、信頼	SNSに友達の悪口を書くと	悩みや葛藤をともに乗り越え、友情を深めていくことの大切さに気づき、互いに励まし合い、心から信頼しようとする心情を育てる。	P. 40-		
6	9	C	(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	郷土を膨ら	伝統工芸士の広川さんとの出会いから、郷土への思いを深める「私」に共感し、郷土の伝統を大切にし、郷土に尽くした先人に尊敬の念を深め、郷土の発展に努めようとする態度を育てる。	P. 162-		
6	10	C	(14) 家族愛、家庭生活の充実	靴	外靴の紛失で親に心配をかけまいとする主人公と、どんなことがあっても主人公の味方として支えようとする親の姿を通して、家族の深い愛情に気づくとともに、家族の一員として果たすべき役割や責任を理解し、より充実した家庭生活を築こうとする意欲や態度を育てる。	P. 124-		
6	11	B	(6) 思いや、感謝	橋の上のおおかみ	小学校で学んだ教材を、もう一度、さまざまな視点から読み直すことを通して、相手の立場や気持ちに配慮しながら、他者を思いやる行動をしようとする態度を育てる。	P. 172-	重点内容項目 (B-6)	
7	12	D	(19) 生命の尊さ	決断！骨髄バンク移植第一号	悩みながらも自分の骨髄を提供した田中さんの姿から、人が互いに支えあって生きていくことの大切さを理解し、自他の生命を尊重しようとする態度を育てる。	P. 68-		
7	13	A	(1) 自主、自律、自由と責任	傍観者でいいのか	傍観者の視点から「いじめ」について考えることを通して、人間の弱さを克服し、自らの意志や判断で責任ある行動をしようとする態度を育てる。	P. 25-	いじめ防止授業	

月	週	柱	内容項目	教材名	ねらい	頁	備考	実施
7	14	C	(10) 遵法精神、公徳心	父の手作りのベンチ	父の発言をきっかけに、何のために決まりがあるのかを考える主人公の姿を通して、法や決まりの意義に対する理解を深め、よりよい社会を実現するために自ら法や決まりを守ろうとする態度を育てる。	P. 50-		
8	15	B	(9) 相互理解、寛容	風評被害	主人公の変容とその他の登場人物の心情から、表面的な見方にとらわれずに違いを受け入れ、相手を理解することを大切にしようとする心情を育てる。	P. 29-	重点内容項目 (B-9) いじめ防止授業	
9	16	C	(13) 勤労	「看護する」仕事	宮原さんがいきいきと輝いて働いている姿を通して、働くことの喜びは生きがいとなることを理解し、自分の将来の生き方について考えを深めようとする態度を育てる。	P. 140-		
9	17	D	(22) よりよく生きる喜び	銀色のシャープペンシル	心の弱さと良心の間で葛藤する主人公に自分を重ね、弱さを乗り越えて人間としてよりよく生きていこうとする態度を育てる。	P. 110-		
9	18	A	(3) 向上心、個性の伸長	自分の性格が大嫌い！	「自分との付き合い方」を大切にしようとする作者の考えに共感し、自分の持っている良さや個性の発見に努め、それを肯定的に捉え、伸ばしていこうとする意欲を育てる。	P. 150-		
10	19	C	(15) よりよい学校生活、集団生活の充実	金賞を目指して	立場や考え方が異なる3人の心情から、集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して、集団生活の充実に努めようとする態度を育てる。	P. 77-		
10	20	D	(19) 生命の尊さ	助産師の方の講演会	講師による講演を通して、生命誕生の喜び、生命のかけがえのなさやありがたさについて考え、自他を尊重しようとする心情を育てる。		命の授業 日本医科大学 多摩永山病院	
10	21	C	(11) 公正、公平、社会正義	いじめに当たるのはどうだろう	いじめに当たる行為や判断の根拠について考えることを通して、正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする態度を育てる。	P. 22-	いじめ防止授業	
10	22	D	(21) 感動、畏敬の念	火の島	作者の感動的な体験や火山噴火の写真から、自然の偉大さに感動し、人間の力を超えた自然の力への畏敬の念を深めようとする心情を育てる。	P. 144-		
10	23	B	(6) 思いや り、感謝	思いやりの日々	障がいのある人と関わった主人公の気持ちを考えることを通して、相手の立場や気持ちを考え、本当の思いやりとは何かを理解し、温かい人間関係を深め、誰に対しても思いやりの心を持ってともに生きようとする心情を育てる。	P. 102-	重点内容項目 (B-6)	
11	24	C	(12) 社会参画、公共の精神	震災の中で	自然災害が起きたときのボランティアの在り方について考えることを通して、社会の一員であることを自覚し、互いに助け合い励まし合うことの大切さを理解し、今後の生活に生かそうとする態度を育てる。	P. 134-		
11	25	C	(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	ぼくのふるさと	ふるさとを愛し、ふるさとのためにできることをしたいと願う作者に共感することで、郷土意識を深め、進んで地域の発展に努めようとする態度を育てる。	P. 99-		

月	週	柱	内容項目	教材名	ねらい	頁	備考	実施
12	26	C	(10) 遵法精神、公徳心	ごみ箱をもっと増やして	街の中にごみ箱を増やすかどうかの話し合いを通して、公徳心について理解を深め、誰もが気持ちよく生活できる、よりよい社会の実現に努めようとする態度を育てる。	P. 107-		
12	27	D	(20) 自然愛護	ぼくらの村の未来	村の発展と自然の保護について考えることを通して、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めていこうとする心情を育てる。	P. 120-	NHK番組「ココロ部！」	
12	28	D	(19) 生命の尊さ	夕暮れどきの避難	自然災害の恐ろしさを想定しながら、いざというときに命を守ることの大切さについて考え、連續性と有限性のある命の尊さを理解し、かけがえのない生命を尊重しようとする心情を基に道徳的判断力を育てる。	P. 73-		
1	29	A	(1) 自主、自律、自由と責任	裏庭での出来事	主人公の姿を追うことで、周囲に流されず自らの内に規律を作り、自らの自由な意思や判断に基づいて誠実に行動し、結果に責任を持とうとする判断力を育てる。	P. 94-		
1	30	A	(2) 節度、節制	山に来る資格がない	登山中の出来事を考えることを通して、節度と節制に心がけ、望ましい生活習慣を進んで身につけようとする心情を育てる。	P. 34-		
1	31	D	(22) よりよく生きる喜び	いつわりのバイオリン	弟子からの手紙を読んで涙を流す主人公の姿から、人間には弱さを克服して生きがいを求めるようとする強さや気高さがあることに気づき、人間としての誇りを大切にして生きようとする心情を育てる。	P. 167-		
1	32	B	(9) 相互理解、寛容	私はここにいる—倉橋香衣	苦悩しながらもチームメートと関わっていく倉橋選手の姿を通して、自分の考えや意見を伝えることの大切さに気づき、他者の個性や立場を尊重してお互いに理解することから、自らを高めていこうとする意欲や態度を育てる。	P. 80-	重点内容項目(B-9)	
2	33	C	(11) 公正、公平、社会正義	私の「ふつう」と、あなたの「ふつう」	外国人に対する差別や偏見の問題について考えることを通して、正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めていこうとする心情を育てる。	P. 115-		
3	34	B	(8) 友情、信頼	出会い—アンドロイドと不気味の谷	自分の思い込みで友達に対して壁を作っている悠真の姿について考えることを通して、相手を理解して互いの信頼関係を築いていこうとする態度を育てる。	P. 90-		
3	35	C	(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	古都の雅、菓子の心	悩みながらも京菓子を作り続ける富藏さんの生き方について話し合い、優れた伝統や文化を育んできた先人たちの努力や精神を理解し、それを継承し発展させていこうとする心情を育てる。	P. 129-		

令和7年度 第2学年 道徳科の年間指導計画 (教育出版2年)

月	週	柱	内容項目	教材名	ねらい	頁	備考	実施
4	1	B	(9) 相互理解、寛容	まるごと好きです	「まるごと好きになる」手法について考えることを通して、これまでの自分の人とのつき合いで振り返りながら、人の上手なつき合いで身につけようとする実践的態度を育てる。	P. 12-	重点内容項目 (B-9)	
4	2	A	(1) 自主、自律、自由と責任	先輩	部活動に対して真面目に取り組むことのできなかった「僕」の言動について考えることを通して、自律した生き方で得られるものに気づき、自律ある行動をとろうとする態度を育てる。	P. 18-		
4	3	A	(4) 希望と勇気、克己と強い意志	心を鍛える	荒木香織さんの生き方・考え方について、挑戦するがゆえに直面する困難を乗り越える際に大切にしたことを自分なりに考え、心構えを知り、積極的な思考や行動を習慣化していくうとする実践意欲を養う。	P. 102-		
5	4	A	(2) 節度、節制	留学で考えさせられたお金	お金の意義や価値について考えることを通して、望ましい生活習慣を身につけ、節度を守り節制に心がけようとする心情を育てる。	P. 34-		
5	5	C	(12) 社会参画、公共の精神	まだ食べられるのに	まだ食べられる食品が大量に廃棄されている現状について話し合うことを通して、「食」という身近なところからよりよい社会づくりに関わっていこうとする態度を育てる。	P. 88-		
5	6	C	(11) 公正、公平、社会正義	あなたの声、心に届け	自分と違うと不安になったり、ありのままの自分でいられなかったりする理由を話し合うことを通して、同調圧力に流されない、偏見のない社会の大切さに気づき、誰もが自分らしく生きられる社会のために、自分にできることを実践しようとする意欲を高める。	P. 22-		
6	7	D	(19) 生命の尊さ	たったひとつたからもの	秋雪くんの生きる姿を見て周りの人がどう思ったかを考えることを通して、生きることの意義に気づき、精いっぱい生きていこうとする心情を育てる。	P. 144-		
6	8	C	(18) 国際理解、国際貢献	六千人の命のビザ	杉原千畝の決断を支えた思いについて話し合うことを通して、国際的視野に立って世界の平和と人類の発展に寄与する大切さに気づき、千畝の生き方から学んだことを自分の人生にいかしていこうとする実践意欲を育てる。	P. 38-		
6	9	B	(6) 思いやや、感謝	夜の果物屋	少女の気づきに共感することを通して、自分を支えている善意に目を向け、そのことに感謝し応えようとする心情を育てる。	P. 82-	重点内容項目 (B-6)	
6	10	B	(6) 思いやや、感謝	地下鉄で	他者への思いやりの気持ちが具体的に表現された場面を読んだり、実際に演じたりすることを通して、はたらきかける側、はたらきかけられる側の気持ちを味わい、思いやりを行動に移そうとする実践意欲と態度を育てる。	P. 132-	重点内容項目 (B-6)	
7	11	C	(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	伝えるということ	郷土の伝統行事が長く継承されてきた理由や、継承する意義について話し合うことを通して、地域の伝統を継承・発展させるために自分にできることを実行に移そうとする意欲や態度を育てる。	P. 150-		

月	週	柱	内容項目	教材名	ねらい	頁	備考	実施
7	12	B	(7) 礼儀	あんぱんとお礼状	職場体験で地域の人々と関わることを通して、礼儀の意義を理解し、相手に対して尊厳や感謝の気持ちを具体的に表し、心と形が一体となつた、時と場に応じた適切な言動をとろうとする心情を育てる。	P. 72-		
9	13	C	(13) 勤労	清掃はやさしさ	清掃の仕事に誇りをもって取り組む「私」の姿を通して、勤労の尊さや意義についての理解を深め、自分も勤労を通じて社会に貢献しようとする心情を育てる。	P. 76-		
9	14	B	(8) 友情、信頼	由紀のいら立ち	友達を注意する役割演技をすることで、友情を尊重することの大切さや難しさについて考え、友達とよりよい関係を築き上げようとする心情を育てる。	P. 120-	いじめ防止授業	
9	15	C	(10) 遵法精神、公徳心	お菓子、どうする？	望ましいルールについて自分の立場を可視化しながら話し合うを通して、「自分自身の意思」と「他者の意思」を両立できる、きまりのよりよいあり方について考えようとする道徳的判断力を育てる。	P. 8-		
10	16	A	(2) 節度、節制	SNSとどうつき合う？	SNSの使い方について話し合うを通して、自分の生活を振り返り、節度を守り節制に心がけ、安全で調和のある生活をしようとする態度を育てる。	P. 66-		
10	17	D	(19) 生命の尊さ	同意や合意、恋愛、デートDVなど	講師による講演を通して、生命のかけがえのなさやありがたさについて考え、思春期の自分自身の成長と自他を尊重しようとする心情を育てる。		命の授業 外部講師	
10	18	C	(10) 遵法精神、公徳心	違反摘発	法やきまりの意義について考えることを通して、それらの大切さを再認識し、公徳心に支えられた遵法精神と遵法への実践意欲と態度を育てる。	P. 100-		
10	19	A	(3) 向上心、個性の伸長	五万回斬られた男・福本清三	「五万回斬られた男」と称される福本清三さんの生き方について考えることを通して、自分自身が納得できる充実した人生を生きるための心得を模索しようとする心情を育てる。	P. 164-		
11	20	C	(11) 公正、公平、社会正義	わたしのせいじゃない	「わたしのせいじゃない」とはいえない問題について話し合うを通して、社会をよりよくするために主体的に関わっていこうとする実践意欲と態度を育てる。	P. 174-	いじめ防止授業	
11	21	C	(11) 公正、公平、社会正義	最優秀	嫌がらせに気づけなかった「私」の心情を捉えることを通して、誰に対しても公平に接することの大切さに気づき、いじめや差別のない社会をつくろうとする心情を育てる。	P. 28-	いじめ防止授業	
11	22	A	(3) 向上心、個性の伸長	心のアンテナ	「私」の葛藤や発見を教材で追体験することを通して、自らの個性に気づき、伸ばし、自分らしく生きていこうとする態度を育てる。	P. 46-		
11	23	A	(1) 自主、自律、自由と責任	「金のおの」その後	誠実な生き方とは何かについて、様々な角度から考えることを通して、誠実でよりよい生き方を主体的に目指そうとする心情を深める。	P. 128-		

月	週	柱	内容項目	教材名	ねらい	頁	備考	実施
12	24	C	(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	狂言師・野村萬斎物語	野村萬斎さんの狂言に対する思いを読み取らせてることを通して、「伝統の継承や新しい文化の創造」が必要なことに気づき、自分もそのために寄与しようとする心情を育てる。	P. 108-		
12	25	D	(20) 自然愛護	「べつの道」へ	カーソンの自然環境に対する思いを理解することを通して、自然愛護が必要なことに気づき、自分もそのために寄与しようとする心情を育てる。	P. 94-		
12	26	C	(14) 家族愛、家庭生活の充実	飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ	井村さんの手紙を読むことを通して、無私の愛情をもって育ててくれた父母や祖父母を敬愛し、家族を大切にする心情を育てる。	P. 124-		
1	27	C	(12) 社会参画、公共の精神	復旧にとどまらず、復興を～後藤新平～	「私たちの学校や住んでいる地域をよくするためにできそうなこと」についての議論を通して、これから的生活や社会をよりよくするために主体的に関わっていこうとする態度を育てる。	P. 170-		
1	28	D	(22) よりよく生きる喜び	語りかける目	震災で母を失った少女の姿を通して、人間には弱さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることに喜びを見いだそうとする心情を育てる。	P. 184-		
1	29	C	(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	サッカーの種をまく	郷土の伝統を興した人とそれを受け止め支えた人々、双方の思いを推し測ることを通して、自分も地域の一員だという自覚と誇りをもち、伝統や文化の継承に努めようとする態度を育てる。	P. 176-		
2	30	B	(8) 友情、信頼	本当の友達って	本当の友情について考えることを通して、心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めようとする心情を育てる。	P. 52-	いじめ防止授業	
2	31	A	(5) 真理の探究、創造	分身ロボットでかなえたいこと	古藤オリィさんの「ないなら、つくる」という精神を手がかりに、「生きるとは、人の役に立つこと」について考えることを通して、主体的に真理を探究して新しいものを生み出そうとする意欲を養う。	P. 62-		
2	32	C	(15) よりよい学校生活、集団生活の充実	三年生を送る会	感謝の気持ちをこめて三年生を送り出す行事への姿勢について考えることを通して、教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合って、集団生活の充実に努めようとする心情を育てる。	P. 154-		
3	33	A	(5) 真理の探究、創造	風に立つライオン	「風に向かって立つライオン」をイメージすることを通して、自分自身のこれから的人生の「志」を立て、新しいものを生み出そうとする実践意欲と態度を育てる。	P. 58-		
3	34	D	(21) 感動、畏敬の念	ハッチを開けて、知らない世界へ	体験したからこそ感じる宇宙や地球とのつながりについての話し合いを通して、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深め、感動する心情を育てる。	P. 160-		
3	35	C	(18) 国際理解、国際貢献	ドイツ・ヴリーツエンに眠る日本人医師～肥沼信次の生涯～	戦後、ドイツに残って診療活動を続け、最期は自らも感染し客死した肥沼信次の生き方について学ぶことを通して、国際貢献のあり方について考えようとする態度を育てる。	P. 180-		

令和7年度 第3学年 道徳科の年間指導計画 (教育出版3年)

月	週	柱	内容項目	教材名	ねらい	頁	備考	実施
4	1	A	(4) 希望と勇気、克己と強い意志	片足のアルペンスキー・ヤー・三澤拓	夢に挑戦し続けている三澤さんの生き方から、その原動力となっているものについて考え、目標を実現するために希望と勇気をもって実行し、困難に屈せず粘り強くやり抜こうとする態度を育てる。	P. 144-		
4	2	C	(12) 社会参画、公共の精神	平和をつなぐ	平和活動を持続可能なものにしていくための努力について考え議論することを通して、平和な社会づくりに参画することについて考えを深め、日々の生活をよりよくしていこうとする実践意欲と態度を養う。	P. 92-		
4	3	A	(5) 真理の探究、創造	昨日より今日、今日よりも明日	岸田周三さんの料理を創造する態度を通して、真理を探究して新しいものを生み出し続けるのに大切なことを多面的・多角的に深く考え、粘り強く探究していこうとする態度を育てる。	P.46-		
5	4	C	(10) 遵法精神、公徳心	二通の手紙	規律ある安定した社会の実現を目指し、きまりや法の意義について深く考え、主体的に守ろうとする態度を育てる。	P. 76-		
5	5	D	(22) よりよく生きる喜び	カーテンの向こう	ヤコブのとった行動について考えることを通して、人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、誇りある生き方をしようとする心情を育てる。	P. 108-		
5	6	A	(3) 向上心、個性の伸長	ひび割れ壺	ひび割れ壺と水くみ人とのやりとりから、自分の個性をいかして自分らしくよりよく生きるためににはどんなことが大切なかを考え、実践しようとする意欲を育てる。	P. 122-		
6	7	C	(11) 公正、公平、社会正義	卒業文集最後の二行	いじめの加害者が抱える自責の念や、被害者の気持ちについて考えることを通して、差別や偏見のない社会を実現していこうとする態度を育てる。	P. 30-	いじめ防止授業	
6	8	A	(2) 節度、節制	歩きスマホをどうするか	歩きスマホの危険性や、スマホ使用者の意識を考えることを通して、スマホとの望ましいつき合い方に気づき、節度を守り、節制を心がけようとする心情を育てる。	P.72-	重点内容項目(B-9) いじめ防止授業	
6	9	C	(13) 勤労	専門家であること	看護師である父の、仕事への取り組み方について考えることを通して、個の役割を果たすことが社会を支えることに気づき、勤労を通して社会に貢献しようとする実践意欲と態度を育てる。	P. 114-		
6	10	B	(9) 相互理解、寛容	自分の思い・相手の思い	絵本「キラキラ」を通して、冷静さを失うと思い込みから判断して取り返しのつかないことをしてしまう恐れがあることに気づき、相互理解を進めて相手を受け入れていこうとする道徳的判断力を高める。	P. 8-	重点内容項目(B-9)	
7	11	A	(5) 真理の探究、創造	無限の道	筆者の生き方について考えることを通して、自らの信念や生き方について考え、真理を探究していこうとする態度を育てる。	P. 62-		
7	12	C	(15) よりよい学校生活、集団生活の充実	旅立ちの日に	卒業式に臨む姿勢を考えることを通して、自分たちの学校を改めて見つめ直し、学校の一員として自分にできることは何かを考えようとする態度を育てる。	P. 154-		
7	13	B	(8) 友情、信頼	僕は友達を裏切ったのか?	部活動について「僕」と友達の間で起きたことの意味を考えることを通して、個性や価値観の相違を超えた友情の尊さについて考え、よりよい友情を培っていこうとする態度を育てる。	P. 18-		

月	週	柱	内容項目	教材名	ねらい	頁	備考	実施
8	14	D	(21)感動、畏敬の念	もう一つの時間	筆者が自然と向き合う中で考えたことを通して、人間の力を超えたものに対して美しさや気高さを感じ、自然の中で生かされていることを自覚して、自己のあり方・生き方を深めていこうとする心情を育てる。	P.160-		
9	15	C	(12)社会参画、公共の精神	若者議会	若者議会の活動について知ることを通して、特別活動を社会参画の観点から見直し、社会参画や社会連帯についての考えを深め、すすんで社会と関わり積極的な生き方を模索しようとする態度を育てる。	P.118-		
9	16	C	(12)社会参画、公共の精神	憧れの消防団	「僕」と消防団との交流を通して、社会連帯の意義と価値についての理解を深め、社会をよりよくするために主体的に関わっていこうとする実践意欲を育てる。	P.170-		
9	17	B	(18)礼儀	校長先生の模擬面接	校長先生との模擬面接での愛花のとまどいを通して、時と場に応じた適切な言動について考え、形の根底にある礼儀の意義を理解し、他者に主体的に関わっていくための判断力を育てる。	P.104-		
10	18	A	(1)自主、自律、自由と責任	父のひと言	父が筆者に発した言葉の意味を考えることを通して、責任をもつことの大切さを自覚し、自分の責任を全うしようとする態度を育てる。	P.56-		
10	19	D	(22)よりよく生きる喜び	償い	加害者・被害者双方の悩み、苦しみ、良心を考えることを通して、人間には弱さや醜さもあるが、それを克服し気高く生きようとする心があることを理解し、人間としてよりよく生きていこうとする態度を育てる。	P.82-		
10	20	A	(3)向上心、個性の伸長	藤井聰太の学び方	杉本さんの藤井さんへの接し方や藤井さんの学ぶ姿勢を考えることを通して、自ら学ぶことができる人が進化できる人であることに気づき、自ら進化できる人になるために身につけたい力は何かを考え、実行しようとする実践意欲と態度を育てる。	P.14-		
10	21	B	(8)友情、信頼	美佐の進路	進路選択に悩む美佐と、由紀、雅司3人のやりとりを通して、高め合う友情を築くために大切なことについて考え、互いを尊重し、励まし合おうとする実践意欲と態度を育てる。	P.86-		
10	22	C	(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	昇き縄	「僕」が抱く博多祇園山笠への思いについて考えることを通して、郷土の伝統や地域社会の一員としての自覚の大切さに気づき、郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めようとする態度を育てる。	P.50-		
11	23	B	(9)相互理解、寛容	あなたは顔で差別をしますか	筆者の体験について考えることを通して、それぞれの個性や立場を尊重し、寛容な心をもって相互に理解し、謙虚に他に学び、自らを高めていこうとする態度を育てる。	P. 38-	重点内容項目 (B-9) いじめ防止授業	
11	24	C	(14)家族愛、家庭生活の充実	テーブルの卵焼き	大野さんの歌から自分と母親との関係を見つめ直す春菜の姿を通して、父母や祖父母に対する敬愛の念を深め、家族を大切にしようとする態度を育てる。	P.66-		
12	25	C	(18)国際理解、国際貢献	あふれる愛	マザー=テレサの生き方から学んだことを話し合うことで、人間の存在や価値についての理解を深め、国際的な視野に立って、世界の平和と人類の発展に貢献しようとする態度を育てる。	P.124-	いじめ防止授業	
12	26	D	(20)自然愛護	変わりゆく地球	私たちの暮らす地球の姿を知り、自然との共存を考えることを通して、自然を愛護し、自然に対して謙虚に向き合おうとする態度を育てる。	P.98-		

月	週	柱	内容項目	教材名	ねらい	頁	備考	実施
12	27	B	(6) 思いや り、感謝	足袋の季 節	おばあさんの思いやりに感謝し、自分の弱さを見つめ、たくましく生きる「私」の生き方を考えることを通して、多くの人々の善意により今の自分があることに気づき、思いやりあふれる人間愛の精神を深めようとする態度を育てる。	P.150-	重点内容項目 (B-6)	
1	28	D	(19) 生命の 尊さ	家族の思 いと意思 表示カー ド	意思表示カードに記された姉の思いと、家族の思いを通して、生命をどのように大切にするかを考え、かけがえのない生命を尊重しようとする心情を育てる。	P.140-		
1	29	D	(19) 生命の 尊さ	同意や合 意、恋愛、 デート D Vなど	中学校生活の締めくくりの時期に、あらためて生命のかけがえのなさやありがたさについて考え、思春期の自分自身の成長と自他を尊重しようとする心情を育てる。		命の授業 外部講師	
1	30	C	(22) 我が国 の伝統と文化 の尊重、国を 愛する態度	世界に誇 る 「BONSAI」	盆栽師加藤三郎の思いを考えることを通して、我が国の伝統や文化を継承していくことの重要性に気づき、自国の文化を尊重しようとする態度を育てる。	P.176-		
1	31	D	(21) 感動、畏 敬の念	カムイモ シリとアイ ヌモシリ	アイヌ民族における自然との関わり方について考え方議論することを通して、自然の中で生きることへの考えを深め、自然への畏敬の念をもちながら自然と共存していくこうとする実践意欲と態度を育てる。	P.184-		
2	32	D	(20) 自然愛 護	サルも人 も愛した写 真家	野生動物と人間の共存についての葛藤を通して、自然と人間、自己との関わりについて考えを深め、自然との調和の中で生かされていることを自覚し、共存していくこうとする態度を育てる。	P.136-		
2	33	A	(1) 自主、自 律、自由と責 任	駐車場係 として	自分の役割を放棄して試合を見に行こうとした「僕」の心情と行動の是非を話し合うことを通じて、自分の役割を忠実に果たすことの大切さに気づき、責任ある行動をとるための判断力を育てる。	P.166-		
2	34	C	(11) 公正、公 平、社会正義	抗議する 選手たち	人種差別に抗議する選手たちの行動から「意識する自分」になりたいと思うようになった主人公の心の変化を考える活動を通じ、自ら積極的に正しい行動を実践することの大切さに気づかせ、公正、公平にふるまおうとする態度を育てる。	P.132-	いじめ防止授業	
3	35	D	(20) 自然愛 護	変わりゆ く地球	自然や地球のかけがえのなさに気づき、感じたことを伝え合う活動を通じて、自分の取り組みに新たな価値づけをしたり、クラスメイトの活動に学んだりしながら、自然愛護のためにできることを謙虚に継続していくこうとする心情を育てる。	P.98-		